

研究主題 安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を意識して～

議題 「男女関係なく仲を深めるためのイベントをしよう」 (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てる。

社会参画

よりよい集団や社会を作ろうとする力を育てる。

自己実現

なりたい自分に向けてがんばる力を育てる。

2. 第5学年及び第6学年における評価規準

集団活動や生活についての 知識・理解	集団の一員としての 思考・判断・表現	集団活動や生活への 関心・意欲・態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、真面目で何事にも一生懸命最後まで取り組むことができる児童が多い。学級の係活動にも意欲的で、学期ごとに自分たちで話し合っ係を決め、一人一人が選んだ係に所属して、好きなことや得意なことを生かした係活動に進んで取り組んでいる。係活動等で男女関係なく関わる機会はあるが、控えめな児童も多く、基本的には仲の良い同性と過ごし、男女関係なく気軽に話しかけたり関わったりするまでには至っていない。1学期末の振り返りて、「2学期はもっと男女仲良くなるために、自分から進んで話しかけて関わりたい。」という児童の意見があり、学級全体で取り上げた。また、2学期はじめに学級でもその話題を取り上げたことで、2学期の目標の一つに掲げている児童も多くおり、改善したい課題と捉えている児童も多いことが分かる。

学級活動については、4月に6年生の両クラスで話し合っ考えた目標の案を持ち寄り、学年目標として設定し、その上で1年間の個人目標を決定した。また、6月に学級会オリエンテーションを行い、学級会の進め方や話し合いの約束などについて共通理解を図った。その後、「学期末のお楽しみ会をしよう」等という議題で話し合っきた。学級会の進め方は身に付いたとはまだ言えないが、折り合いをつけながら話し合うことに少しずつ慣れ、自分たちで決めた議題や内容を実行することの楽しさを味わう経験を積み重ねている。しかし、自分の意見を伝えることを遠慮したり抵抗を感じたりしている児童や、伝えたいことを相手に理解できるように話したりすることが苦手な児童もいるという現状がある。

(2) 議題選定の理由

本議題は、2学期はじめに設定した目標を達成するために学級会でできることはないか、と投げかけて集めた議題の中にながっていたものである。小学校最後の一年の振り返しを過ぎ、「残り半年で楽しい思い出をもっと増やしたい」という思いが強くなり、この議題が選定された。ただ仲を深めるための楽しいイベントをするのではなく、2学期の目標として多くの児童が掲げていた『男女関係なく仲を深める』ために、イベントをすることを目標として、自分たちのしたいことや得意なこと、好きなことを生かした内容を考え、準備をして実行することで、自分や友だちのことを深く知るとともに、学級の一体感が高まると考える。また、男女関係なく仲を深めるための工夫を考える中で自己決定する場を大切にすることで、より達成感を感じたり、自己や他者の成長を感じたりすることができるようにする。

また、「どんなイベントにするか」「男女関係なく仲を深めるためにどんな工夫をするか」について、互いの意見を尊重し合いながら協力して計画を立て、実践できるように指導していく。その際、国語『話し合っ考えを深めよう』で身に付けた力「異なる立場の意見を自分の考えに生かす」ことを教科横断的に生かすことができるよう必要に応じて声掛け等の工夫を行っていく。イベントを通して、友だちの新たな良さに気付いたり、よりよい人間関係を築いたりするとともに、自分たちの力でよりよい学校生活をつくっていかうとする自治的能力を育てていきたい。

4. 指導と評価の計画



日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学 指導上の留意点(・)
10月11日(月) ①朝の会	①議題の募集学 ・一人一人が設定した2学期の目標から、実現したい学級を具体的にイメージし、議題を考える。
10月13日(水) ②昼休み ③帰りの会	②役割分担計 ・学級会の進行の仕方を確認する。 ③議題の決定・周知計 ・提案理由を明らかにして、学級全員に伝え、学級会コーナーに掲示する。
10月14日(木) ④朝の会	④案募集学 ・学級会ノートに自分の考えを記入する。
10月18日(月) ⑤昼休み	⑤案の整理計 ・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。
10月19日(火) ⑥昼休み	⑥学級会のシュミレーション計 ・進行、板書をイメージしながら確認し、話し合いの見通しをもてるようにする。

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
◎イベントへの見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的態度) 【提案カード・観察】
◎男女関係なく仲良くなるための工夫を学級会ノートに書いている。 (知識・理解) 【学級会ノート・観察】

本時のねらい 男女関係なく仲を深めるためのイベントと工夫を考えることができる。		
話し合いの順序	気をつけること ○留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認	・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。	
男女関係なく仲を深めるためにイベントをしよう		
4 提案理由の確認 5 めあての確認 6 決まっていることの確認 7 先生の話	・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 『男女関係なく仲を深めるためのイベント内容とその工夫を考えよう。』 ・決まっていることを確認する。 ①日時…11月5日(金) ②場所…体育館 ○前時までの取り組みの良かったところと期待を伝え、本時の意欲を高める。	
8 話し合い 話し合うこと① 「どんなイベントをするのか。」 話し合うこと② 「男女関係なく仲良くする工夫はどうするのか。」	・「比べ合う」から進められるように、事前にイベントの案を集計しておき、短冊に書いておく。 ○司会が進行に困ったときは方向性を示唆する。 ・事前に学級会ノートに書いてある工夫を「出し合う」ところから進める。 ○必要に応じて、提案理由に沿ったものかどうか、考えられるよう助言する。	◎男女関係なく仲良くなるためのイベントの内容や工夫は何か良いか、根拠を明確にしながらか発言したり、友だちの意見と比べて聞いたりしている。 (思考・判断・表現) 【観察・発言】
9 決まったことの発表 10 振り返り	・分かりやすくまとめて発表する。 ○自分自身や友だちの成長したところや次に繋がる課題等について書いてある振り返りを紹介する。 ○提案理由を意識した発言や建設的な発言をしていた児童を称賛する。 ・実践への意欲が高まるように言葉掛けを行う。	
11 先生の話 12 おわりの言葉		

5. 板書計画

<p>ふりかえり</p> <p>まとめ</p> <p>話し合うこと② 「どんな工夫をするか」</p> <p>出し合う くらべる</p> <p>お祭り ハロウィンパーティー・チームで出し物をする オリンピック・オリジナルの競技を考えて、競う</p> <p>まとめ</p>	<p>めあて</p> <p>話し合うこと① 「どんなイベントをするか」</p> <p>くらべる</p> <p>お祭り ・夏祭りのように出店をする</p> <p>話し合うこと② 「どんな工夫をするか」</p> <p>出し合う くらべる</p> <p>お祭り ハロウィンパーティー・チームで出し物をする オリンピック・オリジナルの競技を考えて、競う</p> <p>まとめ</p>	<p>議題</p> <p>「男女関係なく仲を深めるためにイベントをしよう」</p> <p>提案理由</p> <p>決まった人と話すことが多く、もってクラスみんなの仲を深めて、楽しい思い出を作りたいから。</p> <p>めあて</p> <p>男女関係なく仲を深めるためのイベントと工夫を考えよう。</p>	<p>第○回学級会</p>
--	---	---	---------------

日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学 指導上の留意点(・)
10月21日(木) ①朝の会	①決まったことを知らせる計 ・学級会で決めた要点をまとめて伝えられるよう助言する。 ②チーム分け学 ・決まったことをふまえてチームを分ける。
10月29日(金) ③学級活動	③イベントに向けての準備学 ・各チームの考えた内容を共有する。 ・チームに分かれ、準備を行う。
11月5日(金) ④学級活動	④イベントの実施学 ・ねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 ・協力したり工夫したりして活動している児童を称賛する。
11月5日(金) ⑤帰りの会	⑤振り返り学 ・めあてに基づいた振り返りを行う。 ・自分の役割や友だちの良さについても振り返り、自他の頑張りを認められるよう助言する。

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
◎イベントの成果と課題を振り返り、自他の頑張りに気付いたり、次の活動に生かそうとしていたりしている。 (主体的態度) 【行動観察】
◎イベントのめあてを意識し、友だちと協力して取り組んでいる。 (思考・判断・表現) 【行動観察・振り返りカード】